

# 令和7年度群馬県畜産試験場研究成果発表会 開催要領

## 1 趣旨

群馬県畜産試験場において、日頃、試験研究に取り組んでいる様々な課題について、生産者を始めとしたより多くの県民の方にその内容を理解いただくために、研究成果発表会を開催します。

## 2 開催日時

令和8年2月18日(水) 10:30 ~ 14:40

## 3 開催場所

群馬会館 ホール（前橋市大手町2丁目1-1）

## 4 開催日程

受付:10:00 ~ (群馬会館 ホール入り口)

開会:10:30 ~ 10:40

発表:10:40 ~ 14:40(途中昼食休憩あり)

閉会:14:40

## 5 発表内容

別紙、発表プログラムのとおり。

# 【畜産試験場成果発表会・課題一覧】 会場：群馬会館 ホール

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 10:40~11:00              | <b>1 第13回全国和牛能力共進会「肉牛の部」上位入賞を目指した取り組み【育成試験報告】</b><br>肉牛係 浅田 勉  |
| 課題要旨                     | 令和9年に開催される第13回全国和牛能力共進会「肉牛の部」には当場産種雄牛である“福之鶴”“福勝鶴”産子で出品することが決定している。当場では高能力受精卵産子を作出し、24カ月齢出荷を目指した肥育試験に取り組んでおり、今回は“福之鶴”産子10頭の育成試験結果について報告する。 |
| 11:00~11:15              | <b>2 渋川家畜市場におけるゲノミック育種価評価の表記効果について</b><br>繁殖技術係 下田 歩夢  |
| 課題要旨                     | 渋川家畜市場では、令和4年4月よりセリ名簿へゲノミック育種価を掲載することが可能となった。そこで、ゲノミック育種価掲載の有無、評価値が取引価格に及ぼす影響について報告する。   |
| 11:15~11:30              | <b>3 枝肉重量ゲノミック評価別に見た哺乳行動と発育</b><br>繁殖技術係 下田 歩夢   |
| 課題要旨                     | 枝肉重量ゲノミック育種価と、哺乳ロボットでの哺乳行動（哺乳量、哺乳スピード、訪問回数）、体重推移、また、生時体重の違いにも着目し、哺乳期から出荷までの成長の傾向を調査したので報告する。   |
| 11:30~11:45              | <b>4 卵胞囊腫の治療簡易化に向けた取り組み</b><br>繁殖技術係 永井 武史   |
| 課題要旨                     | 肉用牛において卵胞囊腫は疾病事故の上位に入り、経済的損失が大きく、確実に効果のある治療が求められている。そこでCIDR製剤と黄体ホルモン製剤の併用により治療方法が簡易化できないか検討した。   |
| 〈 昼 休 憩 〉<br>11:45~13:00 |  |
| 13:00~13:20              | <b>5 乳牛のメタン排出量推定のための呼気ガス測定法開発</b><br>酪農係 中島 翼空   |
| 課題要旨                     | GHG削減対策の基盤となる呼気ガス分析について、搾乳ロボットを用いた多頭数からの効率的なガス採取が可能となる「スニファー法」開発の取り組みを報告する。  |
| 13:20~13:40              | <b>6 乳牛における肢皮膚炎対策の新資材実証試験</b><br>酪農係 中島 翼空   |
| 課題要旨                     | 肢皮膚炎(DD)は、牛の趾間皮膚に潰瘍性病変を形成し生産性低下の一因となる感染性疾患である。今回、海外で使用されている新たなDD対策用資材について実証試験を行ったので、その概要を報告する。   |
| 13:40~13:55              | <b>7 子実トウモロコシにおける堆肥利用による窒素代替の検討</b><br>飼料環境係 今西 耕平   |
| 課題要旨                     | 価格が高騰する化成肥料を牛糞堆肥または豚・鶏糞堆肥を用いて、基肥の窒素成分を一部代替し栽培試験を行った。その結果、堆肥代替により化成肥料施用と遜色のない子実収量が得られたので報告する。   |
| 13:55~14:10              | <b>8 アミノ酸バランス改善飼料による温室効果ガス削減について</b><br>養豚係 青木 圭   |
| 課題要旨                     | 養豚分野における温室効果ガスの削減技術として、アミノ酸バランス改善飼料の給与による窒素排せつ量の低減技術がJ-Cレジット制度の方法論として認証されている。今回、本技術の普及を図るため、市販飼料を用いて肥育豚の発育に及ぼす影響を調査したので報告する。               |
| 14:10~14:40              | <b>9 採卵鶏の鶏種別能力比較試験 令和6年度試験鶏の90週齢までの生産性・経済性・鶏卵品質について</b><br>養鶏係 後藤 美津夫  |
| 課題要旨                     | 採卵鶏の鶏種別能力比較試験の令和6年4月に餌付けた10鶏種について、90週齢(630日齢)までの生産性・経済性と、30週齢から90週齢まで10週齢ごとの鶏卵品質について概要を報告する  |